

居場所

田畠

優輝

【人物一覧表】

警備員	茂木	山田	尾身	片岡	上野
(4 6 8)	(4 6)	(5 8)	(5 4)	(2 3 0)	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
ス レ バ ー の の 警 備 員	ス レ バ ー バ ー の バ ー ト	ス レ バ ー バ ー の バ ー ト	ス レ バ ー バ ー の バ ー ト	ス レ バ ー バ ー の バ ー ト	主人公 ・ ス レ バ ー の 常 連 店 長 の バ ー ト

○ スーパー・レジ

片岡、コーンポタージュを持ちレジに持っていく。

山田（45）「いらっしゃいませ。」

山田、コーンポタージュをレジに通す。

山田「110円でございます。」

片岡、ポケットから110円を出す。

山田「110円丁度、お預かりいたします。」

片岡、小さく礼をしてイトインスペースへ向かう。

山田「ありがとうございます。」

茂木（46）、山田に駆け寄る。

茂木「（小声で）またコンポタ君？」

山田「まただよ。もう一ヶ月は来てるよ？」

茂木「仕事してるのかね？若いのに。」

山田「（笑いながら）毎日来ているのにしている

わけないじやない。」

茂木「（小ばかにして）そうね。」

○ 同・イトインスペース

片岡、コンポタージュを持つて角の席に座る。何もせず、ただボーッとしている。

○ 同・惣菜コーナー

上野、品出ししながら、片岡をチラチラと見ていく。

○ 同・休憩室

上野、休憩室に入る。

山田「お疲れさま。」

山田、休憩で弁当を食べている。

上野「お疲れ様です。」

上野、ロツカーリを開け、帰る支度をする。

山田「はい。お疲れ様です。」

山田「今日上がり？お疲れ様。」

上野「コンポタ君？」ああ……イートインスペ

ースの……」

山田「そうそう！ 気味悪いよね。」

上野「（理解できず） 気味……悪いですか？」

山田「気味悪いでしょ！ 毎日コーンポタージュだけ買って何時間も居座るのよ？」

上野「なんかやっているのかもしれないじゃないですか？」

山田「いや、ただボーッとしてるだけでしょ？ 何もやってないよ。若いのに時間無駄にして。本当、どういうつもりなのか。」

上野「あの、私、この後聞いてみますか？ いたらですけど。」

山田「え？ 何を？」

上野「何をしてるか。コンポタ君に」

山田「（半笑いで）あんた変な人だね。やめときな。何されるかわからんないよ。」

上野「何かされたら、その時はその時です。」

山田「いやいや、え？ 本当に聞くの？」

上野「はい。興味あるので。」

山田「（呆れて）まあ、好きにしたらいけど。本当に気を付けなよ。」

上野、帰る支度が終わる。

上野「ありがとうございます。それじゃあ、
お先に失礼します。」

山田「うん。お疲れ……」

上野、休憩室から出る。

山田「（ぼそっと）変な子……」

○同・イートインスペース

片岡、角でボーツと座つている。

上野、コーンポタージュを持つて片岡
の隣の席に座り、一口飲む。
上野「あ、これ美味しいですね。毎日飲む気
持ちわかりました。」

片岡「（驚いて）……」

上野「あ、ごめんなさい。急に話しかけて。
こここの店員です。」

と、一礼する。

片岡「（不審に思い）どうも……」

上野「聞きたくて。いつもここで何してるの
かな~って。」

片岡「いつも……何もしてないですか？」

片岡「はい。」

上野「なるほど。いいですね。何もしないって。私も好きです。何もしないの。」

片岡「好きで何もしてないわけではないです。」

上野「あ、そなんですね。じゃあなんですか？」

片岡「（頭を搔いて）なんであつて……」

上野「……踏み込みすぎか。すみません。」

片岡「いえ……こちらこそすみません。コンボタージュだけで何時間もここにいて……迷惑ですよね……」

上野「いえ……私はただのパートなので。大丈夫です。」

片岡「あの……明日からもここに来ていいですか？」

上野「……はい。お客様なので、ご自由に。」

片岡「……ありがとうございます。」

上野「いえ、それじやあ。」

と、コンボタージュを持ち、立ち上

がる。

上野 「また明日。」

と、イートインスペースを去る。

片岡、上野の背中を見つめる。

○（翌日）・同・惣菜コーナー

上野、陳列しながら、イートインスペースにいる片岡を見つめる。

片岡、上野に気付く。

上野、片岡に真顔で小さく手を振る。

片岡、小さく礼をする。

上野、仕事に戻る。

片岡「⋮⋮」

○同・休憩室

上野、休憩室で帰る支度をしている。

山田、入室。

山田「あ、上野ちゃん！」

上野「お疲れ様です。」

山田「コンポタ君大丈夫だつた？」

上野 「いい子でした。コンポタージュも美味しかったし。」

山田「（困惑して）いい子だつたつて……いや、

聞きたいのはコンポタ君は何をしてるのかとか、仕事してるのかとかそういうのを聞きたいんだけど……」

上野「ああ……何も聞いてないです。」

山田「何も聞いてないって……じゃあなんで話しかけたのよ。」

上野「すみません。そういうつもりじゃなかつたので……」

山田「うーん、まあいいわ。コンポタ君ももう来れなくなるから。」

上野「え？ なんでですか？」

山田「さつき店長から聞いたんだけど、イトインスペースをガチャガチャコーナーに変えるらしいよ。」

上野「なんでですか？」

山田「なんでですか？」
るからでしょ。イトインスペースなんか

一円ももうからないんだし。」

上野「そうか… そうですよね。それもう決定なんですか?」

山田「決定らしいよ。もう来週には変わってるだろうね。」

上野「そうですか…」

山田「まあ、そういうことだから。コンポタ君はもう来ないかもねー。」

上野「…」

○ 同・イートインスペース

片岡、角でボーッとコンポタージュを持つて、座っている。

上野、私服でコンポタージュを持ち、

片岡の隣に座る。

上野「どうも。」

片岡

上野、「どうも。」
上野、コンポタージュをしつかり振つてから飲み始める。

上野「昨日、コンポタージュ振るのを忘れ

てて、コーンが全然出てこなかつたのです。」

片岡「あるあるですよね。」

上野「今日もボーッとしてたんですか？」

片岡「はい⋮⋮すみません。」

上野「謝ることないじやないですか。」

片岡「いや⋮⋮はい。そうなんですけど⋮⋮」

上野「⋮⋮この場所。好きですか？」

片岡「(困惑して)好き⋮⋮だと思います。」

上野「ずっとここにいたいですか？」

片岡「ずっといたいわけではないですね⋮⋮」

上野「そうですか⋮⋮実はこのイートインス
ペース。来週にはなくなるみたいなんです
よ。」

片岡「(驚いて)え、なくなるんですか？」

上野「社外秘なので他言無用ですが⋮⋮」

片岡「(必死に)それは困ります！やつと⋮⋮
やつとだつたんです！」

上野「やつと？」

片岡「(うつむいて)⋮⋮」

上野「なくなるのは確定みたいです。ここに

ガチャガチャスペースを作るらしくて。」

片岡「……そうですか。」

上野「はい。申し訳ないんですけど……」

片岡「（絶望の顔で）いえ、はい……」

上野「……」

片岡「わかりました……」

上野「なんでそんなに苦しそうなんですか？」

片岡「……」

上野「すみません。踏み込みすぎました。」

5秒ほどの沈黙。

片岡「やつと、ここなら……」

上野「ここなら……」

片岡「（涙目で）……僕、二か月前まで普通に会社行つて、仕事……してたんですけど……仕事できな過ぎて。みんなに迷惑かけてて、何もできなくて、みんなの倍、頑張らなきやつて、頑張つても全部空回りして。いつも考へているうちに家から出れなくなつちやつて。休職することになつて。それで……引きこもつちやつて……やつと家

から出れて。でも家から出ても行くところ
がなくて。その時見つけたのここなんです。
唯一、家から近くていつまでもいてよくて、
何もしなくてよくて。」

片岡、涙がこぼれはじめ、深く頭を下
げる。

片岡「（涙を拭い必死に）すみません！ここ、
残してほしいです。あと数週間だけでも：
：お願いします！やつと見つけた大好きな
場所なんです！」

上野「……すみません。私パートなので。」

片岡「（うつむいて）……そうですよね。すみ
ません。無理なお願いを言って。」

上野「……私はただのパートです。だけど、
ここで働く一員です。店長を説得すること
は可能ですか？」

片岡「（顔をあげて）説得してくれるんです
か？」

上野「期待はしないでください。ただ、説得
はしてみます。」

片岡、上野の手を強く握る。

片岡「ありがとうございます！ありがとうございます！ありがとうございます！」

上野「いえ、それじゃあ。今から行つてきます。」

す。」

片岡「え、今からですか？仕事終わりじゃ？」

上野「大事なことはすぐ手を付ける派なので。」

上野、一礼してから去る。

片岡、上野に深く頭を下げる。

○ 同・事務室

店長の尾身（58）が事務仕事をしている。

上野、尾身の目の前に立つ。

尾身「（少し驚いて）おお！上野さんか。何？

どうした？上がったんじゃないの？」

上野「すみません店長。イートインスペースの件でお話がありまして……」

尾身「ああ、あそこね。ガチャガチャコーナーにするから。来週の頭に一気に改装する

わ。」

上野「はい。そのガチャガチャコ一ナ一に改
装するの、中止にできませんか?」

尾身「え?」

上野「お客様でのスペースがなくなつて欲
しくないつて懇願してきた方がいまして、
なんとか中止にできませんかね?」

尾身「(淡々と)うん。無理だね。」

上野「無理⋮⋮ですか。」

尾身「うん。もう決定したことだし、契約も
結んでる。まあ知らせるのが遅くなつたの
は申し訳ないけど、中止はできない。」

上野「でも、お客様が⋮⋮」

尾身「(遮るよう)コンポタ君でしょ?さつ
きからお客様つて言つてるけど。コンポタ
君一人でしょ?一人の意見だけ聞き入れる
ことは出来ないよ。イトインスペースを
このまま続けても売り上げは上がらない。
でも、ガチャガチャ上がる。もうこの話終
わりでいい?」

上野 「⋮⋮」

尾身 「もういいから、あがりな。お疲れ。」

上野 「お疲れ様です。」

上野、少し悔しそうな顔で事務室を去る。

○ 同・イートインスペース

片岡、ソワソワしながら座っている。

上野、片岡のもとへ行く。

片岡 「（勢いよく立ち）あの⋮⋮どうでしたか？」

上野 「（申し訳なさそうに）すみません。」

片岡、ゆっくりと座る。

片岡 「そうですよね。すみません。無理言つ

ちやつて。」

上野 「いえ、まだ時間はあります。明日もまた説得しますので⋮⋮」

片岡 「いえ⋮⋮大丈夫です。（作り笑いで）多分神様が甘えるなって言っているんだと思います。ここで時間を無駄にするなって。」

居場所をまた見つけろって……

上野「すみません。居場所を守つてあげれず、すみませんでした。」

片岡「いや、ありがとうございます。説得までしていただいて。自分、これがいい機会だと思つてまた頑張ります。はい。頑張ります……」

上野「……居場所見つcreですか？」

片岡「ここを見つけることで来たので、またどこか見つければと思います。」

片岡、顔アップ。

片岡「今まで、ありがとうございました。」

○（1年後）同・休憩室

上野、エプロンを付け、仕事の準備をしている。

山田、入室。

山田「あら、上野ちゃん。おはよう。上野「おはようございます。」

山田「今日、遅番？」

上野 「はい。そなんですよ。」

山田 「今日忙しいから。頑張つて。」

上野 「はい。頑張ります。」

○ 同 惣菜コーナー

上野、惣菜に割引シールを貼っている。
ふと、イートインスペースがあつた場所を見るとガチャガチャコーナーに変わつており、「ガチャゴトン」という音が聞こえる。

尾身 「コンポタ君どうしてるかね。」

と、急に背後に現れ、話す。

上野 「どうですかね。」

尾身 「ま、若いしなんだつてできるか。」

上野 「そうですかね。」

尾身、バッカヤードへと去る。

上野、ガチャガチャコーナーを見つめる。

○ 同・休憩室

上野、仕事が終わり、私服に着替える。
着替え終わり、ロッカーを閉め、休憩室を出る。

○ 同・裏口・夜

上野、帰ろうと、警備室の前を通る。
上野、警備室の中の警備員（68）に向かって、

上野「お先に失礼します。」

警備員「あ！ 上野さん！ ちよつと！」

上野、足を止める。

上野「はい？ どうしました？」

警備員「いや、あのね、これガチャガチャコナーナーの角に隠してあつてさ：：」

と、コーンポタージュがいっぱい入った袋を出す。袋には付箋が貼つてある。

警備員「忘れ物かなと思つて捨てようと思つたんだけど、付箋が貼つてあつてさ、パ―トの女性みんなに聞いてるんだけど、これ。」

警備員、袋を上野に手渡す。

上野 「はい。なんだろう。」

上野、受け取り、付箋に書かれていた一文を読んで大きく目を見開く。

警備員 「あ！ちょっと！」

上野、無視して走り出す。

○住宅街
上野、袋を持ち、人目を気にせず、息を荒くして走る。

○公園

上野、公園に着き、周囲を見渡す。息はまだ荒いまま。

ベンチに座っているスリーツ姿の片岡を見つける。

片岡 「お久しぶりです。」

と、深々と一礼する。

片岡 「横座りますか？」

上野、小さく頷き、片岡の横に座り、

コーンポタージュを一つ渡すし、自分の分も取る。

片岡「コーンポタージュ。処分されなくてよかつたです。」

上野「捨てられる一步手前でした。」

片岡「危なかつた。よく考えたらお名前聞いてなかつたのでこうするしかなくて……」
上野「とある女性のパートの方へじや普通、手渡されないですよ。」

片岡「（嬉しそうに）でも、しつかり手渡してほしい人に受け取つてもらえた。」

上野「……仕事には戻つたんですか？」

片岡「転職しました。……と言つても、今は正社員ではないんですけど。でも今は無理せず働けてます。」

上野「（微笑んで）見つけたんですね。居場所。」
片岡「はい。おかげさまで見つけることが出来ました。」

上野「いや、私は何もしてあげれなかつたので……」

片岡「何を言っているんですか！あの時、気味の悪い自分のためにすぐ動いてくれたじゃないですか！あの時、すごくうれしかったんですね。そして、結果ってどうでもいいんだなつて。結果的にイトインスペースはなくなりましたけど、その過程のあなたの思いが自分はすごくうれしくて（照れて）：：なんだろう。すみません。うまく話せなくて：：」

上野「いえ、全部話されなくとも大丈夫です。気持ちちは十分伝わりました。」

片岡「と、とりあえず。コーンポタージュ飲みますか。」

上野「そうですね。」

上野と片岡、「コーンポタージュのふたを開ける。」

上野と片岡「あ：：」

上野「振るの忘れてましたね。」

片岡「忘れましたね。」

上野と片岡、見つめあい笑いあう。